

# 札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程における早期修了に関する要領

制定 2022年12月21日

改正 2024年12月18日

デザイン研究科教授会

## 1. 趣旨

優れた業績を上げた者が本学大学院デザイン研究科博士後期課程（以下、「研究科」という。）を標準修業年限に満たない期間（1年または2年）で修了することを早期修了とする。本要領は、札幌市立大学大学院学則第42条第2項ただし書きに基づき、札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程の早期修了に関し必要な事項を定めたものである。

## 2. 早期修了にかかる申請手続

早期修了を希望する学生は、入学手続き期間中に早期修了申請書（様式1）及び次の添付書類を、指導を希望する教員を通して、デザイン研究科教務・学生支援委員会に提出する。

- ①研究テーマと、早期修了が可能であることがわかる研究計画が記載された研究計画書（様式自由）
- ②権威ある学会誌（学術雑誌）等に掲載された（あるいは掲載が決定した）審査付論文<sup>※1</sup>、その他の論文<sup>※2</sup>、国際会議の予稿<sup>※3</sup>、作品の受賞<sup>※4</sup>等の優れた業績を挙げたことがわかる資料（1編以上、様式自由）  
（別刷、DOI、掲載決定や投稿中であることがわかるメール、学会等ウェブサイト、国際会議ウェブサイト（主催団体や規模、実施日程、実施場所、運営体制などの概要がわかるもの）、受賞作品の概要（コンペ等の詳細が記載されたウェブサイト、賞状や主催団体の公式サイトなど受賞が確認できるもの）等）
- ③①の研究計画書に記載の研究テーマと②の優れた業績との関係性を説明したもの（様式自由）
- ④指導を希望する教員の指導許可/確認書（様式2）

### ※1 審査付論文について

博士論文提出資格に係る審査付論文は、掲載にかかる査読者2名以上かつ6ページ以上の原著論文とし、以下のア、イのいずれかに該当するものとする。

ア) 日本学術会議協力学術研究団体として指定された全国規模の学会から、定期的に発行される学会誌（学術雑誌）等に掲載（掲載決定を含む）されたものであること。

イ) 以下のいずれかに当てはまる国内外の学術雑誌等に掲載（掲載決定を含む）されていること。

- ・ Clarivate Analytics 社 impact factor が付されている学術雑誌
- ・ Scopus Scimago Journal Rank (SJR) に掲載されている学術雑誌
- ・ Directory of Open Access Journals (DOAJ) に登録されている学術雑誌
- ・ Open Access Scholarly Publishers Association (OASPA) の member の学術雑誌
- ・ Committee on Publication Ethics (COPE) の member 学会等の学術雑誌
- ・ Elsevier 社 citesscore が付されている学術雑誌

### ※2 その他の論文について

その他の論文は、掲載にかかる査読者2名以上かつ6ページ以上で、かつ上記ア) またはイ) に該当する学術雑誌等に掲載された論文のうち、原著論文以外のカテゴリに属するものとする。

具体的には、日本デザイン学会の「日本デザイン学会・作品集」などがこれに該当する。掲載された論文のカテゴリが分からない場合は、指導教員に相談すること。

### ※3 国際会議の予稿について

国際会議の予稿は、上記イ) の学術雑誌の発行母体等が主催する国際会議において発行される講演論文(proceedings)のうち、採択にかかる査読者2名以上かつ6ページ以上のものとする。

ただし、以下の場合には認められないので留意すること。

- ・抄録(abstract)に対する審査は受けたが、proceedingsに対する査読を受けていない。
- ・予稿集には掲載されたが国際会議での発表を行っていない。

なお、国際会議の規模、運営・審査体制、公開方法等により、業績として認められない場合がある。

### ※4 作品の受賞について

「作品の受賞」は、国際あるいは全国規模の著名な展示会やコンペティション等において高い評価を受けたものであり、申請者を筆頭とするものに限る。

## 3. 早期修了にかかる許可手続き

- (1) デザイン研究科教務・学生支援委員会は、提出書類により審議を行い、当該学生の早期修了の可否を確認し、デザイン研究科教授会に提案する。
- (2) デザイン研究科教授会は、デザイン研究科教務・学生支援委員会からの提案を受け、早期修了の可否を決定する。(D マル合を持つ複数の教員で構成される代議員会等による審議を行う。)
- (3) 早期修了が可能であると判断された者を「早期修了候補者」とし、対象学生及び指導を希望する教員へ入学時に通知する。

## 4. 早期修了の期間延長について

博士特別研究 III の取得に際し、学位申請に必要な原著論文等の査読が完了しない場合には、在学期間の延長を申請することができる。デザイン研究科は、申請に基づき、教授会にて審議のうえ、期間の延長を認めることができる。

## 5. 早期修了要件

早期修了が認められる学生は、以下の項目をすべて満たすことを要件とする。

- ①本要領第3項に示す所定の手続きを経て早期修了候補者と認められていること
- ②本学博士後期課程在学中に1年以上研究指導教員の指導を受け、権威ある学術論文誌<sup>(※)</sup>への筆頭著者としての論文掲載又は採録通知が1本以上あること
- ③博士後期課程において休学期間がないこと
- ④別表に掲げる単位を全て修得すること
- ⑤博士論文の審査及び最終試験に合格すること

※学位申請の手引きに掲載

## 6. 早期修了における修了判定時の要件

早期修了候補者が、学位審査を経て、修了判定時に早期修了を認められるためには、修了要件に加えて、以下の事項を要件とする。

- ・授業料をすべて納入済み又は免除が認められていること
- ・在学期間中に休学の期間が無いこと

#### 7. 早期修了の判定及び許可

デザイン研究科教授会における修了判定会議にて、修了要件及び早期修了要件を満たした学生に対し、早期修了を許可する。

#### 8. その他

- ・早期修了者の授業料は、在学期間分の授業料とする。
- ・この要領にない事項については、別途定める。

<別表>

##### 1年で修了する場合

年次	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位数	備考
1	基本科目	横断型連携特別演習	通年	2	
	展開科目	博士デザイン特別演習	前期 or 後期	2	
	研究指導科目	博士特別研究 II	前期	2	前期に中間発表会を実施
		博士特別研究 III	後期	4	
合計				10	

##### 2年で修了する場合

年次	科目区分	授業科目の名称	開講時期	単位数	備考
1	基本科目	横断型連携特別演習	通年	2	
	展開科目	博士デザイン特別演習	前期 or 後期	2	
	研究指導科目	博士特別研究 II	通年	2	
博士特別研究 III		通年	4		
2					
合計				10	

なお、人間情報デザイン研究法・人間空間デザイン研究法(1年次前期, 2単位)、人間空間デザイン特講・人間情報デザイン特講(1年次後期, 2単位)、博士特別研究 I(1年次通年, 2単位)については、早期修了候補者となった時点で単位を認定されたものとする。